

湖美来 通信



uture
rom
ukushima.

ふくしまから
はじめよう。

発行/猪苗代湖・
裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
住所/福島市杉妻町2番16号
(事務局 福島県生活環境部 水・大気環境課)
TEL.024-521-7258 FAX024-521-7927
E-mail / kosuikyo@ht-net21.ne.jp
ホームページ / http://www.ht-net21.ne.jp/~kosuikyo/

「この人に聞く」
(猪苗代湖の自然を守る会 代表 鬼多見 賢氏) 2

猪苗代湖と裏磐梯湖沼の水質測定結果等
について 3

猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
平成 25 年度上半期活動報告 4

「湖美来クラブ」会員募集中です!/
水環境保全フォーラムのお知らせ 5

おすすめスポット/寄付の御礼/
編集後記 6

「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖 裏磐梯」



協議会定期総会のようす
(平成 25 年 4 月 25 日)



猪苗代湖のボランティア清掃のようす
(平成 25 年 6 月 29 日)



「親子で学ぶ猪苗代湖ものがたり」(平成 25 年 8 月 19 日・21 日)のようす
左:猪苗代町体験交流館「学びいな」での学習会/右:昭和の森での見学会

この人に聞く

猪苗代湖の自然を守る会
代表 鬼多見 賢氏



長年にわたる猪苗代湖の水環境保全活動により、平成25年5月に各種功労者知事表彰を受賞した鬼多見さん（猪苗代湖の自然を守る会「代表」）にお話を聞きました。

Q 猪苗代湖の水環境保全活動を始めたきっかけは何ですか？ また、いつ頃から活動していますか？

A 昭和40年代前半からです。当初まだ環境悪化とか水質汚染というような問題が取り上げられていませんでした。景観をはじめ自然も豊かでした。湖水もそのまま飲める状態でしたので、ゴミ拾いや天然記念物（水鳥やミズズギゴケ等）の保護活動が主でした。しかし、次第に汀が無くなり岸辺の砂浜がヨシや高植物によつて浸食され、水質汚濁が進み始めました。

Q 子どもの頃は猪苗代湖でどのような遊びをしましたか？

A もっぱら水遊びです。1日中泳いではいられないので、砂遊びをしたり、湖岸沿いの野イチゴやクマヤナギの実、クワゴなどを採集しておやつ代わりにして遊んでいました。春休みには東京ドームより広い砂浜ができるので野球をして遊びましたが、あまり広いのでボール拾いが大変でした。

Q 昔と今の猪苗代湖の違いは何ですか？

A 生態系がまったく変わってしまったことです。第一に砂浜が無くなりヨシ原になってしまったことです。

Q 趣味は何ですか？

A スポーツです。何でもやりましたが、野球・スキーといったところでしょうか。走ることも好きでした。

Q 猪苗代湖周辺でお気に入りの場所があれば教えてください。

A まず一周することです。その場所その場所が好きです。

Q どのような環境保全活動を行っているのですか？

A ごみ拾いから始まって湖及び流入する河川の水質調査、ヒシ・アオミドロの除去やそれを堆肥化して優良野菜の栽培をしています。また、天然記念物の保護、小学生から一般までの環境教育講座等を行っています。

Q これから力を入れていきたいと考えている取り組みがあれば教えてください。

A 生態系を以前に戻すことです。それは砂浜を取り戻し、シジミが棲めるような汀に戻し、子供たちがはだしで歩けることです。以前は稀にしか見られなかった水草は今や異常繁殖して船が進めなくなっています。これらはアサザやコケ類に影響を及ぼしています。船外機に水草が絡まり身動きが取れないような状況を早く解決しなければなりません。私も以前はゴミを捨てていた時代がありました。今は罪滅ぼしと思って環境保全に取り組んでいます。



猪苗代湖と裏磐梯湖沼の水質測定結果等について

福島県では、猪苗代湖及び裏磐梯湖沼の平成24年度の水質測定結果等を平成25年8月に公表しました。

〈猪苗代湖のpHについて〉

pHは平成7年度までは5程度の酸性を示していましたが、平成8年度以降その値が上昇し、平成24年度の年間平均は6・8と、中性化が進行しています。(図1)

〈猪苗代湖の大腸菌群数について〉

平成21年度以降、環境基準を超過しています。しかしながら平成24年度は前年度と比べやや少なくなっています。(図1)

〈猪苗代湖と裏磐梯湖沼群のCODについて〉

猪苗代湖のCODについては、湖水の中性化に伴い近年上昇する傾向がみられていましたが、平成24年度は1・0mg/ℓと前年度と比べやや低下しました。

裏磐梯湖沼群のCODについても改善の傾向が見られます。(図2)

まとめ

かつては「水質日本一」を誇った猪苗代湖の水質は、近年では湖水の中性化に伴い水質の悪化が懸念されておりましたが、平成24年度の水質調査結果においてはCODや大腸菌群数などの水質の判断指標にやや好転の兆しが見えました。

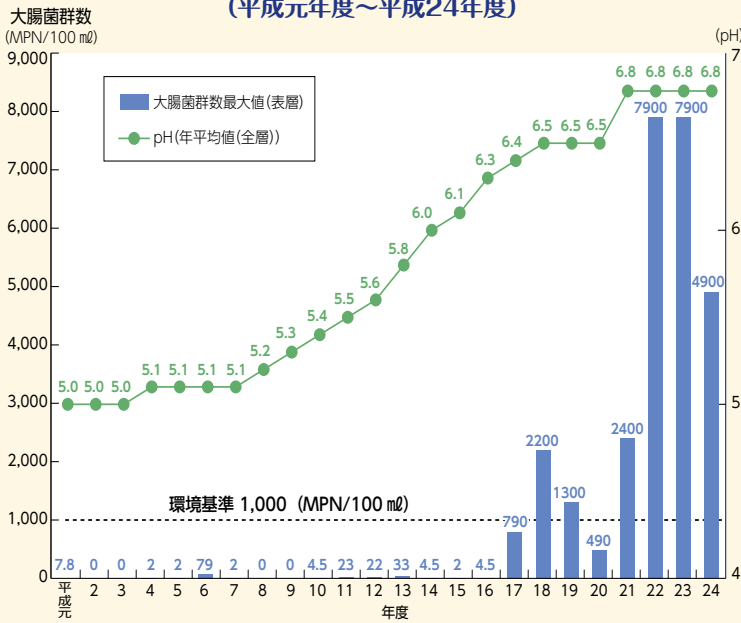
これも皆様方の日頃からの地道な水質保全活動や心がけの賜物ではないでしょうか。

県では今後とも地域の皆様や事業者、関係市町村と一体となって「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖 裏磐梯」をスローガンに掲げ、水環境保全の推進に努めて参ります。



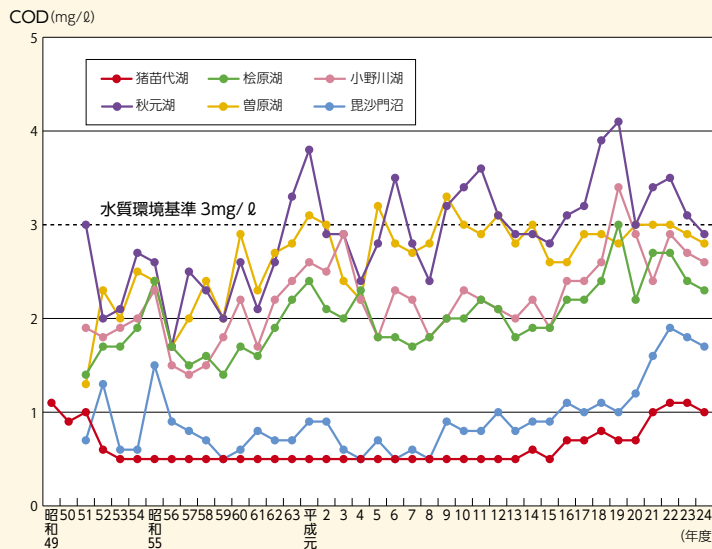
【図1】

猪苗代湖(湖心)における大腸菌群数pH(年平均値)の推移 (平成元年度～平成24年度)



【図2】

猪苗代湖と裏磐梯湖沼群のCOD値の推移 (昭和49年度～平成24年度)



平成25年度上半期活動報告

6/29

県民参加による猪苗代湖のボランティア清掃

郡山市湖南町の舟津浜で昨年引き続き、ボランティア清掃を実施しました。梅雨の時期でしたが当日はきれいに晴れ渡り、湖からは爽やかな風が吹いてきて、天候に恵まれた一日となりました。



当日は快晴でした！



大釜で豚汁づくり

清掃の後は、みんなで豚汁をいただきました。汗を流した後に食べる豚汁はとてもしいしく、何杯もおかわりをしている人もいました。

参加人数は昨年を大きく上回り、過去最高の約430人の方に参加いただきました。砂浜の清掃では足がとられるので、舟津浜に散らばったごみを回収するのは大変でしたが、約1時間の清掃活動で2トンのごみを回収しました。

8/19

8/21

親子で学ぶ猪苗代湖ものがたり



展望台からの景色は絶景！



磐梯山の湧水

親子で猪苗代湖への理解を深めてもらうために、学習会と猪苗代湖見学会を開催しました。8月19日と8月21日の2日間で、合計26名の親子が参加しました。

学習会は猪苗代町体験交流館「学びいな」で開催しました。「NPO法人こどもの森ネットワーク」の橋口先生が豊富な経験をもとに、クイズや実験を交えながら、猪苗代湖について分かりやすく説明してくださいました。

学習会の後は、「猪苗代湖の自然を守る会」の鬼多見代表（1ページのインタビュー記事も併せてご覧ください）をガイドに迎え、猪苗代湖見学会を開催しました。参加者達は、「昭和の森」や天神浜を見学して、普段は見ることでできない猪苗代湖の一面に触れていました。

暑い中の開催でしたが、好奇心旺盛な子ども達は元気いっぱい参加していました。

みずみらい 「湖美来クラブ」会員募集中です！

みずみらい
「湖美来クラブ」
って何？

猪苗代湖や裏磐梯湖沼のきれいな水環境を未来に残すことを目的として、平成14年に創設されたクラブです。会員の方からいただいた会費をもとに、「湖美来基金」という基金を創設して、猪苗代湖・裏磐梯湖沼の水環境を保全するためのさまざまな取り組みを行っています。

年会費は、個人会員が2,000円、法人会員が10,000円です。

会費はどの
ように使われて
いますか？

さまざまな団体や個人が行う水環境保全活動の支援を行っています。平成24年度は、17の団体や個人に対して活動費等の支援を行いました。その一例をご紹介します。

福島県立湖南高等学校生徒会



猪苗代湖南部の舟津浜、横沢浜及び浜路浜に漂着したり放置されたごみを、湖南高等学校の生徒約160人が役割分担して収集・撤去しました。

大茂田川の自然を守る会



流域河川の水質調査を実施したり、小学校での自然観察会を開催するなど、幅広い活動を行い、きれいな水環境の大切さを訴えました。

上記の活動への支援の他にも、水環境保全を訴えるグッズ（エコバッグや下敷など）を作成してイベントの際に配布するなど、猪苗代湖や裏磐梯湖沼のきれいな水環境を未来に残すための普及啓発に努めています。

会員募集中！

会員の方には、協議会が開催する各種イベントへのご案内や流域特産物の抽選プレゼントなど、さまざまな特典をご用意しております。

湖美来クラブにご興味をお持ちの方は、お気軽に県庁水・大気環境課までお問い合わせください。➡電話 024-521-7258

水環境保全フォーラムのお知らせ

協議会では、猪苗代湖や裏磐梯湖沼の水環境に対して皆様の理解を深めていただくことを目的に、今年度も右記によりフォーラムを開催します。

日時 平成25年11月22日(金) 10時～16時

場所 ホテルリステル猪苗代(猪苗代町)

内容 俳優・中本賢さんによる講演や水環境保全団体の取り組み事例発表、パネルディスカッションなど

申込 協議会事務局(県庁水・大気環境課内)

電話 024-521-7258

※定員となり次第締め切らせていただきますので御了承ください。

※会場準備の都合上、11月11日(月)までにお申し込みください。



❖ 壮絶に戦った会津藩士に思いを馳せて 戸ノ口原古戦場跡 (猪苗代町)

戸ノ口原古戦場跡は、戊辰戦争のときに会津藩と明治政府軍が戦った戦場跡です。今年NHKの大河ドラマ「八重の桜」が放送され、幕末の歴史にスポットが当てられた年だったので、今回は戸ノ口原古戦場跡を紹介したいと思います。

慶応4年(1868年)8月、会津若松城下に攻め入ろうとする政府軍と会津藩が戸ノ口原で戦いましたが、大勢の政府軍の前に会津藩は退却を余儀なくされました。白虎隊もこのとき出陣しましたが、戦いで傷つき、飯盛山へと退却していきました。

現在の戸ノ口原古戦場跡は、道路沿いに石碑や会津藩士のお墓がひっそりと佇んでいて、かつては戦場になったとは思えないほど静かな環境になっています。

近くには会津レクリエーション公園や十六橋がありますので、近くを通りかかったら足を止めて、会津藩士のお墓にお参りしてみたいかがでしょうか。



※一万円以上の寄付について掲載させていただきました。他にも多くの方から寄付をいただいておりますことに御礼申し上げます。



イオンスーパーセンター(株)様	(岩手県盛岡市)
イオンリテール(株)様	(千葉県千葉市)
加藤 敏一様	(福島県郡山市)
(株)ニチレイ様	(東京都中央区)
中村 玄正様	(福島県郡山市)

(50音順)

湖美来基金に対し、ご寄付をいただきました。ありがとうございます。



編集後記

今回の湖美来通信では協議会の活動報告について掲載しましたが、今回ご紹介した活動の他にも、関係する団体の皆さんと一緒にいろいろな活動をさせていただきました。そのなかでも印象深いのは、ロータリー猪苗代湖水環境協議会の皆さんが行った猪苗代湖の水草回収作業です。

砂浜に打ち上げられた水草がまた湖に戻ると腐敗し、湖の富栄養化が進行する一因となるので、猪苗代湖北部の天神浜や松橋浜で、9月14日から11月10日までの間、毎週土日に水草の回収作業を行っています。

湖の北部水域で大量に繁茂し、枯死して打ち上げられた水草は結構な量でしたが、皆さん一生懸命作業をされています。私が参加した日は秋晴れで、遠く湖面に浮かぶヨットを眺めながら作業をしました。きれいな水と空気の大切さをしみじみと感じました。

もうじき厳しい冬がやってくると、水質保全活動も一段落になります。スキーや温泉など、冬の猪苗代・裏磐梯を楽しみたいと思います。